

2026
No.116

令和8年2月10日発行

議会だより こさか



消防団の出初め式行進（令和8年1月）



初詣で新年の祈願（出羽神社）

- | | |
|---------------------|------|
| ●12月定例会・1月臨時会の概要 | 2～3 |
| ●一般質問 | 4～10 |
| こんなことを聞きました（6議員） | |
| ●町民と語る会の概要 | 11 |
| ●西十和田トンネル（仮称）早期建設要望 | 12 |



小坂町かぶきん

令和7年第7回小坂町議会定例会は、12月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

定例会では、令和7年度補正予算のほか、条例の制定、一部改正議案、人事案件、陳情や意見書について審議しました。

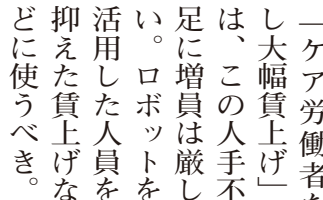
園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定のほか、職員の給与条例の一部改正など条例関係議案6件、補正予算案関係7件を原案のとおり可決しました。

その他では、代表監査委員の人事案件1件ほか陳情6件を採択、意見書案6件を可決し閉会しました。（P2～P3下段に議案一覧）

◆夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情
↓採択

◆ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め、報酬10%以上引き上げを求める国に意見書提出を求める陳情

◆「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を」国への意見書提出を求め



○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 (議長は採決に加わりません)

る陳情書 ↓採択
反対討論 意見書の大枠は賛成だが、各詳細について賛成しかねる文章があるので反対します。
 「ケア労働者を大幅に増員
 「全額国庫負担による賃上げ」も、まずは民間の努力で最低賃金を上げるべき。
 「インボイスの廃止」までを求めずに、経過措置の継続措置をすべき。

秋田県小坂町議会だより第116号 令和8年2月10日号 2

補正予算について

一般会計補正予算（第5号）については、1億2713万8千円を追加する補正予算を可決し、追加後の予算総額は49億5524万7千円となりました。主な内訳は左記のとおりです。

・生活バス路線運行費等補助金	32,593千円
・基幹系システム二要素認証装置追加ライセンス導入委託	5,606千円
・秋田県町村電算システム共同組合負担金	2,178千円
・公共施設等総合管理基金積立金	50,000千円
・鳥獣被害防除対策事業	760千円
・創業チャレンジ支援事業補助金	1,000千円
・鹿角広域行政組合消防費負担金	6,777千円

また、水道事業会計補正予算（第2号）の主なものについては、砂子沢浄水場膜ろ過装置薬品洗浄委託費分264万円を追加する予算等を可決しました。

1月臨時会

令和8年第1回小坂町議会臨時会は、1月19日に開催されました。

臨時会では、物価高騰等総合支援対策として国の重点支援地方交付金の追加事業にとりもなう一般会計補正予算（第6号）と水道使用料の基本料金減免に関わる料金システム改修費として108万9千円含む、水道事業会計補正予算（第3号）について審議しました。

一般会計補正予算については、6870万円を追加する予算を可決し、追加後の予算総額は50億2394万7千円。なお、町民応援商品事業については総事業費4839万5千円のうち4552万4千円

を令和8年度へ繰越明許とすることになりました。内訳は左記のとおりです。

・障害者支援施設等物価高騰対策事業補助金	3,473千円
・介護保険施設等物価高騰対策事業補助金	3,180千円
・物価高対応子育て応援手当支給事業	8,236千円
・水道事業会計補助金（水道基本料金減免分）	4,883千円
・物流関連事業者エネルギー価格高騰対策事業補助金	533千円
・町民応援商品券事業	48,395千円

町民応援商品券事業

物価高騰等総合支援対策として、地域経済を支えるほか住民生活を支援することを目的に、希望する町内各事業所（店舗など）で利用できる地域商品券を発行し、町民に配布することになりました。商品券の配布については1

第7回（12月）定例会 議案名（前ページからつづく）

区	賛成	反対	結果
総務福祉常任委員会付託	8	1	採択
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	8	1	採択
総務福祉常任委員会付託	8	1	採択
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情	8	1	採択
総務福祉常任委員会付託	8	1	採択
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める一国会への意見書提出を求める陳情書	8	1	採択
総務福祉常任委員会付託	9	0	採択
最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書	9	0	採択
産業教育常任委員会付託	9	0	採択
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	9	0	採択
総務福祉常任委員会付託	8	1	採択
インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情	8	1	採択
知識経験を有する者のうちから選任する監査委員の選任につき同意を求めることについて	9	0	採択

人事案件

代表監査委員

熊谷 勝興（再任）

人あたり1万円。

配布対象者は、令和8年3月1日現在で住民基本台帳に登録されている町民の方。使用期間は、令和8年3月5日から令和8年8月31日まで。詳細についてはお問い合わせ先は、小坂町観光産業課観光商工班 ☎29-33908

乳児等通園支援事業

0歳6か月から満3歳未満で保育所等に通っていない乳幼児を対象に、令和8年度から全ての子育て家庭に対して、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず柔軟に利用できる新たな通園支援事業。

詳細についてはお問い合わせ先は、小坂町教育委員会総務班 ☎29-23342

1 3番 菅原 明雅 議員

1. 「高齢者住宅の建設」について
2. 「介護人材の確保」について(提案)



2 4番 鹿兒島 巖 議員

1. 自治会館へのクーラー設置補助について
2. シルバーエリア構想とサンホーム大石平の移転計画について
3. 熊による被害の対策について
4. 小中学校の不登校問題にかかわって

3 2番 工藤 文明 議員

1. クマ対策、人身被害の防止に向けて
2. 小坂定期市日の現状と今後について
3. 公共施設に寄せられた爆破予告への対応と対策について



4 7番 木村 則彦 議員

1. 大雪に対応した除雪対策について
2. 国県への道路改良要望に対しての現状について
3. 町民の防災意識の向上を図るための取り組みについて

5 8番 秋元 英俊 議員

1. 緊急銃猟整備
2. 園児及び児童生徒の通学体制



6 6番 本田 佳子 議員

1. 重点支援地方交付金の使い道について
2. 高校生の通学バスについて



町民の安心のために、高齢者住宅建設のタイムスケジュールを示していただきたい

町長 サンホーム大石平の移転整備と並行して進めたい



菅原 明雅 議員

一般質問 町政を問う

独居高齢者世帯数、 高齢者のみの世帯数は？

答 独居高齢者世帯が419世帯、高齢者のみの世帯が288世帯、合わせて707世帯で、町全世帯数の3分の1を占めています。



高齢者の多い町営住宅

介護人材確保についての町のお考えは？

答 介護人材不足は日本全体の深刻な問題で、町内の事業所においても、人材の確保に苦慮しています。一方、町内の介護入所施設の利用者は減少しており、介護サービスの集約を図りながら需要に応じた適正な規模を維持し、それぞれの施設の人員基準を満たすことができるよう、人員確保に努めていく必要があると考えています。

「小坂町・大館市・鹿角市・北秋田市・上小阿仁村」と広域連携し、「秋田看護福祉大学」と協定を結び、介護人材の安定的な確保を！

町長 県北唯一の介護系大学である「秋田看護福祉大学」との連携や協力は不可欠であると私も認識していますが、秋田県全体で取り組まなければならぬ課題であり、制度改正等国への働きかけも必要になるので、県町村会や市町村共働政策会議などの場で協議してまいりたい

再質問

介護人材不足は、日本全体の問題ですが、人口減少問題と同様、都市部よりは地方が深刻であり、地方でも都市よりは郡部の方が深刻です。

介護職員の待遇改善等国

や県への働きかけに加え、地方の郡部であるこの地域から、介護人材の安定的な確保策を講ずるべきと考え、改めて提案します。

町長

介護人材は、今後更に不足することが見込まれておりますので、この地域の首長レベルの会で、この問題を話していきたいと思っています。



大館市の秋田看護福祉大学

近年の夏の暑さは異常、 自治会館にクーラー設置への補助を

町長 地域温暖化への施策として検討します

問 近年の気象状況の変化はこれまで経験の無いものとなっており、特に夏場の猛暑は耐えがたい状況の中で、自治会活動の拠点となっている自治会館へのクーラー設置に

画」の施策として地域活動の拠点である自治会館へのクーラー設置補助について、来年度の予算化を検討しています。

助成を。

答 策定を進めている「小坂町地域温暖化対策実行計

クマ被害が大きな脅威を及ぼしている。 抜本的な見直しと新たな対策を

町長 抜本的な対策に取り組んでいきます

問 熊対策は抜本的な見直しと新たな対策が急務と考えるがどうか。

答 県では人身被害の防止及び農林畜産物の被害軽減とともに、人との棲み分けを目的として「第二種特定鳥獣管理計画」を策定しており、この計画に基づいた対策が必要と考えています。

問 クマを誘引する果実木の伐採で、空き家や不在地主の問題があり、自治会では対応

が難しく、町での対応が有効のかと考えるがどうか。

答 地域の安全をどう考えるかとの観点から自治会単位としてきましたが、地域の声を受け検討したいと考えます。

問 中・長期対策、例えばガバナンスハンターなどは町でというより、県で対応して頂くことが現実的と考えるが。

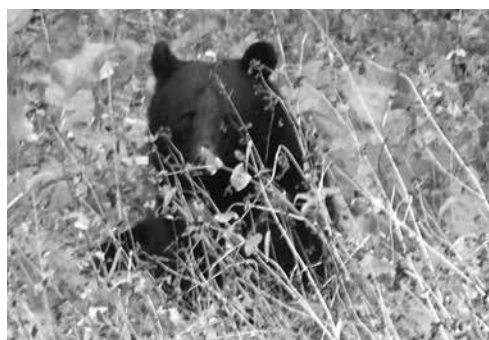
答 県との政策会議の中で話があり、町として議員提案の内容を申し入れたい。

が難しく、町での対応が有効のかと考えるがどうか。

答 地域の安全をどう考えるかとの観点から自治会単位としてきましたが、地域の声を受け検討したいと考えます。

問 中・長期対策、例えばガバナンスハンターなどは町でというより、県で対応して頂くことが現実的と考えるが。

答 県との政策会議の中で話があり、町として議員提案の内容を申し入れたい。



ソバを食うクマ

一般質問 町政を問う



鹿兒島 巖 議員

サンホーム大石平の移設計画の進捗状況は

町長 ケアハウスわかばと隣接で29床の計画
費用高騰などで見直しが必要

問 サンホーム大石平の移設計画で小坂ふくし会から説明があったと聞くが内容は。

答 移転計画の内容は地域密着型特別養護老人ホームが29床、場所は「ケアハウスわかば」隣接地と「小坂向陽運動場」を考えています。

現時点での概算設計額が人件費、資材費等の高騰で、想定以上の金額であったことから、建設方法や内容の見直しが必要となっており、今後、見直しを図って改めて協議したいと考えています。

問 希望する全ての町民が入

小中学校の不登校が全国的に深刻化し、 県内では過去最多と聞くが、当町は

町長 保護者や地域と連携を深め取り組んでいきたい

問 不登校問題が全国的に深刻化し、特に県内では過去最多と聞く。当町の状況は。

答 千人当たりの不登校数で、小学校では全国や県平均を上回り、中学校は下回っていましたが、今年度は改善傾

向と受けとめています。

問 不登校は生徒・児童間や教師などとの人間関係に起因することが多いと聞く。町で

一校、一学年一クラスというなかで、在学中の人間関係は小学校入学時から中学卒業ま

で継続し、対応が難しいと受けとめているが問題はないか。

答 ふるさとキャリア教育・縦割・学年を超えた活動など、自分たちで考えることを通して、あるいは授業の中で満足感を持ってもらえるよう工夫を行っており、成果が出つつあると考えています。

クマ対策 人身被害防止に向けて

工藤 今後も対策の強化を期待します



工藤 文明 議員

一般質問 町政を問う

問 令和7年、隣接する自治体でツキノワグマによる人身被害が多発する中で、小坂町での被害はありませんでした。町の対策を高く評価いたします。

クマによる人身被害防止のために目撃情報の収集、町民との情報共有、講習会の継続開催、担当職員の増員などをご検討ください。さらに今後に向けた効果的な予算執行を



ツキノワグマ

期待します。

答 ご指摘があったクマの目撃情報を上げるため、広報などで周知を続けます。いただいた情報は公式LINEでも提供する予定です。町民の意識向上のために、講習会などを今後も継続して予定します。職員に負担がかからないような人員配置を検討します。

町の定期市日を無くしてはなりません

工藤 「ふるさと」まで失ってしまいうそです

問 人口減少などを反映し、町の市日は縮小の一途です。それを惜しむ声が町民から数多く聞かれます。

小坂市日会の要望としては、「市日を屋根のある下で安心して開設したい」というものですが、検討していただきたい。

答 営利を目的とした特定の団体に対する直接的な助成については、難しい側面もありますが、町として可能な範囲

で商業振興に寄与する支援をおこなってまいります。

意見 小坂定期市日を行事としてみなし、町のホームページや行事ごよみ、広報に紹介していただくことを提案します。予算を必要としなくとも、町の市日をあと押しできるところから検討願います。

公共施設に寄せられた爆破予告への対処

町長 臨機応変に対処できるよう備えてまいります

意見 今後も同様のことが起こり得ます。冷静かつ毅然とした姿勢で臨まれることを確認させていただきました。



国際交流広場



大雪に対応した雪対策は

町長 屋根の雪下ろし支援を研究します



木村 則彦 議員

一般質問 町政を問う

問 大雪時では近くに雪捨て場、流雪溝などが無い地域では、例年の除雪行動では対応できない場合があると思う。町の除雪後に補完的に周辺の除雪を行えるように、個人で購入する小型除雪機購入費への一部助成を、町として支援できないものか。

答 除雪機の無料貸し出し事業など、共助の取り組みに対する支援の活用により周辺除雪は可能であると考えるので、助成は考えてないです。

問 鹿角市や大館市で実施している、屋根の雪下ろし及び下ろした雪の除排雪作業への費用の一部助成を、町として支援できないものか。

答 近隣市では雪下ろしが困難な高齢者世帯に対し、費用の一部助成をしていることから、何らかの支援ができないか研究していきます。

町中心部から川上地区間の国道改良は

町長 矢柄平地区の道路整備が予定されています



一ノ渡（細越～矢柄平）の道路拡幅工事



除雪体制は万全だが、個人の雪かきは大変

問 今後の道路改良の計画は

答 一ノ渡橋付近の急カーブ解消改良工事は、来年度の完成が予定されています。

問 町民の重要な生活路線でもあり関心も高いと思うので、計画路線図を広報等で示していただけないものか。

答 県と協議します。

意見 県等への要望内容は、わかりやすく議会や町民にお知らせいただきたい。

町民の防災意識の向上への取り組みは

町長 共助と自助により防災意識の向上を図ります



秋田県総合防災訓練、セパームでの避難所開設訓練の様子

問 県総合防災訓練は充実した訓練が行われたと思う。今後も防災知識の普及や自主防災組織の育成、防災訓練等を通して、町民の防災意識の向上を図るための計画的な取り組みは。

答 県や地方気象台をはじめとする有識者や、自主防災会各種防災機関と連携して、災害発生時の講話や減災対策、防

災気象情報をテーマにした講習と防災訓練を組み合わせたメニューを充実させ、計画的に取り組んでいきます。

問 現在ある自主防災会の活動状況を把握して、活動を活性化させるべきかと思うが。

答 研修会を開催することで各自自主防災会と接点をもっていくます。

町の緊急銃猟整備は。

町長 緊急銃猟に対応したマニュアルについて
今年度内に整備する予定としています



秋元 英俊 議員

一般質問 町政を問う

問 緊急銃猟についてどのよう
に考えているのか。

答 緊急銃猟対応マニュアル
を年度内に整備、捕獲実施者
については小坂町鳥獣被害対
策実施隊の中で概にリスト化
しており、備品についても防
護盾とヘルメット、追加のク
マ撃退スプレーの購入を予定
しています。

●箱わな



問 クマの出没における園児
及び児童の通学体制は。

答 ツキノワグマ出没警報が
十二月三十一日まで延長と
なったことから、園児や児童
生徒の命と安全を最優先に確
保するよう、これまで同様の
対策を継続してまいります。



●忌避作業



●クマ撃退スプレー
(県教育委員会から10本が配布された。)



重点支援地方交付金の使い方は

町長 状況に応じて進めていきたい



本田 佳子 議員

されているものと思うが、さらに効果があると思われるものについては、実施計画を記載して申請が可能であるようだ。「重点支援地方交付金」を当町ではどのような使い方を考えているか。

一般質問 町政を問う

問 物価高騰により、特に低所得者世帯、高齢者世帯や子育て世帯の生活がより厳しいものとなっている。政府は、11月21日の物価高騰対応として大型減税などを含めて、23兆3千億円規模の総合経済対策を閣議決定した。「重点支援地方交付金」については、2兆円が計上され、自治体が独自の物価高騰対策に柔軟に活用できるよう、財源措置された。すでにこの交付金に対する、推奨事業メニューも示

答 国の今般の経済対策では、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するために、従来の推奨メニューとは別に、食料品物価高騰に対する支援を行うため、市町村に対し、当該支援実施に係る特別加算が措置されることになっております。これを踏まえ、市町村においては必要な支援の予算化、早期執行に努めるよう国から要望されているところであります。交付限度額や事業メニューの詳細については、補正予算成立後に正式な通知がありますので、具体的な支援策はそれを受けてから決定することになります。

だけ町民に広く行き渡るような支援策実施できるよう検討してまいりたいと思います。



高校生通学バス 運行の効率化を

町長 時間をいただき
たい

問 以前から高校生のバス通学について、生徒の親御さんからお話を聞いていた。かぶきんパスは、経済的にもとてもありがたいがたく使わせていただいている。しかし、バス運行の部分で、高校から町中央地区に戻ってきてても、遅い時間の町営バスがないため、親の迎えを待つことになり、クマ出沒もあり、危険だ。川上地区や七滝地区に自宅がある生

徒が、自宅付近までたどり着けるような良い方法はないのか。ある程度の人数がまとまった場合、デマンドタクシーのような仕組みはできないものか。

答 帰りの時間帯によつては、バスの接続がなかったり、次のバスまでの待ち時間が長いなど、大変ご不便をおかけしております。また、クマの出沒等もあり、安全面でも大変不安に感じていることとお察しいたします。そのような場合には、ぜひ交流センター・セパームを利用していただくことで子どもの安全確保をしていただければと思います。

なお、これまで町長部局や教育委員会では、少子高齢化、人口減少対策の一環としての高校生への就学・教育支援として、かぶきんパスによる就学支援のほか、奨学金の貸与や高校生等扶養世帯支援給付金を実施してきていることから、新たなデマンドタクシー等の運行については考えておりません。

問 2年前にも、同じく帰りの通学バスの相談を受けていた。今の時代は共働きでなければ子育てがままならない状況であり、人口減少に伴い町全体で、将来を担う子供たちを育てていく必要があり、大切な局面に立っていると認識している。町長と教育長はどのようにお考えか。

答 (町長) 非常にいい問題であり、町としてできること、できないことがあり、今の問題についても検討したいので、時間をいただきたい。

答 (教育長) 教育委員会単独ではできない問題ですので、町長部局と相談しながら進めていきたいと思っております。



第37回町民と語る会の概要（意見や要望事項と回答）

令和7年11月7（金）～20日（木） 18時～19時30分

昨年に引き続き、各地区に出向き開催し、5地区で48名の方々が参加くださいました。
内容は概要のみの掲載とし、町に対する要望した主な内容及び町からの回答について掲載しています。

令和7年は、クマの里へ

の出没が増加し深刻な問題となりました。各会場においても「クマ対策」に関するご意見等が多くあげられました。

そのため各地区ごとの要望として「クマ対策の問題について」町に提出しました。

クマ対策の問題

「小坂町ツキノワグマ被害防止対策事業補助金」の翌年度以降への継続や申請内容の見直し、サポート隊のあり方、

猟友会に対する日当、報酬等の改善を検討して頂きたい。

町 補助金は翌年度以降の継続に向けて予算要求を検討しています。サポート隊については、今年度の活動内容を隊員からアンケートを取るなどして精査して再度検討します。猟友会の報酬等については、鹿角市との単価に合わせ

る形で検討しています。

中央地区

大堰水路の管理

町 季節ごとによって町の担当窓口が変わり、連絡等に困っている。町として代表窓口を決めてほしい。

町 大堰水路組合の担当部署である農林班へお問い合わせいただければ、内容に応じて各部署と協議しながら対応させて頂きます。

松木沢川の護岸工事等

町 現在まで行っている護岸工事は、松木沢の上流に向かって右側の方だけで、左側の方は未実施である。今後大雨等により倒木等が起き、護岸が崩れたりすると、住宅の方に被害がおきることから左側の護岸工事を行って頂きたい。あわせて松木沢上流の鯉ダムが、かなり痛んでいるのか砂が溜まってきて危険な状

態だと思う。管理者の県に対して改善していただくように強く要望していただきたい。

町 背後に住宅があり崩壊している保全対象となる区間から順次実施していきます。倒木処理などの災害時の維持管理は引き続き行っていきます。鯉ダムについては県に確認したところ、土砂の堆積は想定内であり、砂防堰堤が常時越流するようになった場合は、上流に砂防ダムの建設を計画することです。

七滝地区

側溝の修繕

町 大地上村線の側溝修繕を何度か要望しているが、未だに修繕されていない。優先順位はあると思うがいつ修繕になるのか。

※この要望については、産業教育常任委員会にて建設課から状況を確認。協議の結果、今年度

中に修繕する予定となりました。

川上地区

道路除雪による修繕

町 大型除雪機により、数年前からガードレールが壊れている。野口の場合だとほとんどが曲がっているので修繕をしてもらいたい。

町 ガードレールとしての機能上、支障と思われる箇所について予算を確保の上、修繕に努めます。

上向地区

上向1号線の道路維持

町 上向1号線の大型車両の交通量が増え、何度も路上に穴が開く。抜本的な改修工事を行ってもらいたい。

町 令和8年度に一部舗装補修工事ができるよう予算要望中。予算が確保でき次第速やかに工着手します。

町 イノシシの出没頭数が増え、畑等を掘り起こし被害が起きている。クマ同様に対応をお願いしたい。

町 クマと同様に「箱わな」や「くくり罠」で駆除しておりますが、なかなか捕獲できないのが現状。引き続き猟友

会と連携して対応します。面積の小さな場所については、町の助成制度（限度額20万円まで）を活用して頂き電柵を設置することで被害を押さえることが可能です。

十和田地区

道の駅十和田湖の案内看板

町 道の駅十和田湖のトイレの看板の位置が見えくいたため見える位置へ変更してもらいたい。

また来訪者で敷地内でバーベキューなどをする人がいることから「火気使用厳禁」などの看板を設置し、火災事故へ対する注意喚起をしてもらいたい。

町 トイレの案内看板は駐車場からの視認性を考慮し、当該位置に設置していることをご理解いただきたい。

火気厳禁等の注意喚起の看板については、道の駅内での車中泊を禁止している訳でもないためマナーの範囲以内でご利用いただくこととなります。

しかし、バーベキューなどによる炭や薪などを使用した際に直火などをやめていただこう、指定管理者からお声がけさせていただくなど、周知徹底を図ります。

西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める要望活動



秋田県建設部長(右から2人目)に意見書を提出する目時議長(左から2人目)と平川市議会議員(右端)。左端は川口一県議会議員



西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める要望活動を10月30日に実施し、川口一県議会議員と、秋田県川辺建設部長に意見書を提出してきました。

この要望活動は、自治体が主体となり「西十和田トンネル建設期成

同盟会」や「国道454号整備促進期成同盟会」が青森県及び秋田県に要望活動等を実施するほか、関係する市町村議会でも「西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会」を設立し、要望活動を実施しております。

意見書内容

西十和田トンネル(仮称)は、東北縦貫自動車弘前線と八戸線の連絡道の役割、新青森駅、青森空港等主要交通拠点からの十和田・八幡平圏域や世界遺産登録された北の縄文遺跡群への観光ルートとして重要な役割を担う路線です。

また、この路線は特別豪雪地帯であり、平川市温川地区から小坂町滝ノ沢地区までは冬期閉鎖され、物流や冬期観光に不便を来しているほか、災害時の避難、救援物資等の輸送にマイナス要因となっているため、周辺自治体や住民の切実な願いでもあります。

編集後記

デジタルという

「新たな翼」で

スマートな議会へ

小坂町議会に「タブレット端末iPadの本格導入」されました。

これまで議場の机に高く積み上げられていた膨大な紙資料が、iPadの薄い1台に集約されます。

導入に至るまでは、操作への不安や維持コストへの懸念など、議員の間でも様々な議論がありました。

しかし私たちは「町民の皆様の負託に応えるため、議会もまた進化し続けなければならない」という強い使命感のもと、DX(デジタルトランスフォーメーション)への大きな一歩を踏み出しました。

ペーパーレス化によって削減される膨大な紙資源や印刷コスト、そして職員の作業時間、町民の皆様の貴重な税金をより有効に活用するため、秋田県内25市町村のうち20数番目と

いう後発の導入となりましたが、それは同時に、先行自治体の経験を学び、小坂町にとって最適な運用方法を最初から取り入れられる「後発の利」でもあります。

タブレット導入のようなDXは、あくまで手段であり、それをどう活かすかは、私たち議員や役場職員の研鑽次第です。

と(人工知能)の進化は想像以上に早く、物事を便利にします。

行政も変わらなければいけません。庁内のワークフローや業務プロセスも見直すべきです。

役場等の開庁時間の短縮が行われましたが、とても良い取り組みだと思えます。

行政も変化しなければいけません。停滞は「後退」です。

町民の皆様の声に、これまでに以上に迅速に、そして的確にこたえていく。民間の経営と同じく、決断の連続。そんな「スマートな議会」を今後も目指してまいります。

広報副委員長 椿谷勇次